

**横浜市立釜利谷南小学校**  
**令和5年度 豊かな心の育成推進プラン**

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちと教職員、保護者、地域と共にチーム釜南小でインクルーシブ教育に向かう               <ul style="list-style-type: none"> <li>①持続可能な教育活動の在り方の研究（働き方改革を意識した40分授業の検証）</li> <li>②チーム学年経営強化推進校として（子どもたちを多くの教職員の目で見守り、指導する子に寄り添う体制づくり）</li> <li>③多文化共生（個性の認め合いと心のバリアフリーについて）</li> </ul> </li> </ul> <p>この三つの取組を学校HP等で学校教育活動をさらに充実させて発信していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びと教員の研究の学びを積み重ねていくために、柔軟な対応力や判断力、レジリエンスを大事にしていく。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>豊かな心</b>	<p>あいさつをすすんで行き、同学年・異学年の友達とすすんでかわり、自分や友だちを大切に作る気持ちを育てます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分から「すすんであいさつする」ことを重点的に意識して、あいさつ運動を年間を通して行います。</li> <li>② 縦割り活動を年間を通して行うことで、思いやりの気持ちを育みます。</li> <li>③ 道徳科で学習したことが日常につながるよう、指導計画、授業展開、掲示物等の工夫をします。</li> <li>④ 国際理解教室の IUI と連携しながら、多文化の理解と共生について子どもたちと考えていきます。</li> </ul>
担当	児童支援委員会	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、休み時間などクラスや学年の枠を超えて、一緒に活動することを楽しんでいる児童が多い。一方で、生活や学習の場面では、自分の考えを書いたり話したりして伝えることに苦手意識をもち、人との関わり方の弱い面も見られる。また、自己肯定感が低く、「自分のよいところはない」と考える児童もいる。そのため、互いに学び合う中で、自己表現し、交流する力を身に付けることで、成功体験を積み、自己肯定感を高めていく必要がある。

本校では、継続的に教職員が声掛けをして、朝の校門での挨拶が増えていたが、ここ数年の感染症流行による大きな声を出して挨拶ができないことに加え、児童による集会や啓発運動が行いづらい状況にあり、挨拶する子としない子の差が顕著になってきている。挨拶は大切な習慣であることから、感染症の収束状況を見ながらあいさつ運動の取組を再開していく予定である。

本校でも、外国籍や外国につながる児童が増加する傾向にある。子どもたちは国籍等に関係なく仲良く学校生活を行っているが、今後生活習慣や言語等の違いによる困難さが生まれる可能性がある。そこで、子どもたちが異文化を認め、互いに共生していこうとする心情を養っておく必要がある。

### 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

#### 【人権教育】 「だれもが」「安心して」「豊かに」

- ・人権週間等「人権」に関する取組を公開し、子どもが様々な人とのかかわりをもち、考えを広げ、普段の授業や学校・家庭生活に積極的にかかわってもらえるよう家庭への協力を呼びかけていきます。
- ・「自ら進んであいさつする」を目標とし、あいさつ推進のため、朝のピロティでの声掛けなど、教職員もすすんであいさつし、全校児童のあいさつの定着を図ります。
- ・友達を意識した言葉遣いを推進するため、「ふわふわ言葉」の奨励・定着を図ります。
- ・いじめが起これないような学級風土づくりについて研修を行います。また、いじめの早期発見のため、生活アンケートやYPアセスメントを行い活用していきます。
- ・外国籍や外国につながる児童の増加にともない、国際理解教室の IUI と連携しながら、多文化理解と共生の視点をもって、外国の文化や生活習慣等への理解を深めるとともに、互いを認め合い安心して日々を過ごすことができるようにします。

#### 【自分づくり教育（キャリア教育）】

- ・6年生がリーダーとなって縦割り活動を行い、高学年のリーダーとしての役割意識、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てます。また、異学年との関わりの中で、一人ひとりの自己有用感を高めます。
- ・釜南パスポートに6年間のポートフォリオを蓄積するとともに、子どもたちが自分の成長を実感し、将来の自分の姿を考えることができるようにします。

#### 【道徳教育】 特別の教科道徳を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・全学級の道徳科授業を家庭・地域（年1回以上）に公開することで、学校の取組を発信します。
- ・懇談会等で、道徳の授業について話し、家庭との共通理解を図り、様子を家庭へ知らせていきます。
- ・日々の児童指導や、特別の教科道徳での学習等を通して、日常の自他の言動を振り返るなど、子どもの心を耕していきます。

#### 【『横浜の時間』】 地域材を活用した学習活動

- ・地域や社会、自然等と触れ合う豊かな体験活動を取り入れ、保護者や地域の方に一緒に参加していただく機会を増やし、豊かなかかわりの中で、思いやりの心やコミュニケーション能力を育てます。  
（まち探検、公共施設の利用や施設を利用している人との交流、米作り、家庭科支援、図書室支援等での協力等）
- ・日本の文化や伝統に触れる学習を設定します。
- ・「SDGs」を意識することで、自分の生活だけが豊かになるのではなく、だれもが平等に豊かな生活が送れるよう暮らしを創ろうとする心情を育てます。
- ・「ニレの木スタディフェスタ（学習発表会）」を実施して、本校児童だけでなく、保護者・地域に公開することで、学校の取組を目に見える形で発信します。